

令和4年度第3回学校関係者評価委員会報告 (及び信頼される学校づくりのための委員会)

1 開催日時

令和5年2月10日(金) 14:00~15:30

2 場所

本校会議室

3 参加者

山口浩平(P T A会長) 高田政雄(同窓会会長) 飯伏志穂子(元P T A副会長)

久木田 智成(南九州警察署川辺交番)

前田(校長)横山(教頭)前田(事務長)永長(教務主任)寺田(進路指導主任)

高山(生徒指導主任) 大畠(保健主任)堀脇(教務部評価係)

4 内容

(1) 校長挨拶

(2) 学校評価アンケート結果について、評価係(堀脇)から説明があった。

(3) 校務分掌評価結果について、それぞれ説明があった。

(4) 各評価結果を基に、意見交換を行った。

A	「部活動への入部率は、どれくらいか？」
生徒指導主任	「だいたい80%くらいです」「1年生の入部率が低い傾向にあります」
校長	「1学期のはじめは入部に対して消極的だったが、1学期過ぎた頃から少しずつ入部する生徒が増えてきた」
	「部活動等への取り組みに関して評価が低いのは、部員数が少なく合同チームでの出場であったり、結果が出なかったりすることも要因と考えている」
生徒指導主任	「本校の校則は大分見直しをしてきている。最近、生徒指導提要の改訂が為されたことで、今後生徒や保護者と校則について話し合いの場を持ち、より良い校則にしていき、HP等で公開していきたい」
教頭	「本校は禁止にはしていないが、『ブラック校則』と言われる中に、『ツーブロック(髪型)の禁止』があるが、社会的にはどのように(ツーブロックを)受け止めているのか？」
B	「極端な髪型でなければ、違和感はない」
C	「職務上帽子をかぶっているの、逆に清潔感があるように見える」
教頭	「なぜツーブロック禁止なのかの説明として、『就職試験や面接に耐える髪型』と説明する学校が多いが、どう思うか？」
D	「極端でなければ、問題ない気がする。清潔感はあって欲しい」
B	「学校評価アンケートの『学校は生徒の進路実現のために一生懸命である』の項目で保護者に『あまりそう思わない』と回答した割合が高いが、先生方の個別指導の実際を子どもたちが親に話をしていないのではないか？」
D	「個人差はあるが、自分からその日の学校の様子を親に話さない。親から『学校どうだった?』と問いかけをすると、話し出す。我が家ではそうして学校の様子を聞いていた」
B	「保護者はこの『学校評価委員会』や『保健委員会』などがあることを知

らない。こういった会での協議内容もクラッシーで配信などして、情報発信した方が良いと思う」

A 「情報発信にはSNS（Instagram、Facebookなど）の活用は検討していないのか？」

教頭 「県からは、いつでも使えるように準備はしておくようにとのことだったので、生徒会も前向きである。まだ、具体的な方法や時期は示されていない」

B 「『治療カード』の提出状況が悪いのが気になる。保護者への伝え方はどのようにしているのか？」

保健主任 「紙でのお知らせをしています」

B 「紙以外にもクラッシーで『治療カードを持たせました』など保護者に呼びかけたらいいと思う」

5 最近の話題から

新聞記事の紹介を行った。

6 来年度の予定

来年度の第1回の開催は6月30日（金）15：30の予定

7 閉会のことば

（15：30）